

社会文化創造研究科の教育目標及びディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシーについて

【教育目標】

山形大学大学院の教育目標を踏まえ、社会文化創造研究科では、各学問領域の連携を深め、人文社会科学及び芸術・スポーツ科学を核にしながら、人間世界を社会と文化の関係から広く捉え直し、世界的視野から地域的な展開を新たに創造・実践できる地域創生人材の養成を目標とします。

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、社会文化創造研究科では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1 豊かな人間力

- (1) これからの社会と文化の創造を担うために必要な多様な人々との関わりを通じて豊かなコミュニケーション能力を身に付けている。
- (2) 多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度など、これからの社会を支え、文化を継承・発展させる高度専門職業人として、学びに向かう力を有している。

2 深化した専門的知識・技能と文理兼修による幅広い視野

- (1) 人文・社会科学と芸術・スポーツ科学に関する高度で専門的な研究を遂行することができる深い知識と高度な技能を習得し、現代社会における多様な諸課題の解決のために活用していく能力を有している。
- (2) 個々の専門的知識と技能の深化に加え、他の分野との連携の重要性を理解し、細分化された知を総合的な観点から俯瞰する視野を有している。

3 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力

- (1) 人文・社会科学と芸術・スポーツ科学の専門的視野から、社会の急速な変化を理解し、現代社会が抱える課題の多様性を把握した上で、課題解決に向けて行動することができる。
- (2) 文化の多様性を深く理解し、世界的な視野からの多文化理解を基盤に文化の維持・発展に貢献する強い意志を有している。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院の教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、社会文化創造研究科では、学生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1 教育課程の編成・実施等

- (1) 現代社会で求められる高度専門的職業人を育成するため、基盤教育科目、基礎専門科目及び高度専門科目から構成される、体系的なカリキュラムを編成する。
- (2) 高度な専門的知識や技能を涵養するため、各分野の高度専門科目に分野共通科目、コース別専門科目及び特別研究を配置する。

2 教育方法

- (1) 講義、演習及び実習科目を適切に配置し、授業においては学生が主体的かつ対話的な学びを実現できるよう工夫する。
- (2) 学位論文あるいは修了課題研究等の指導については、指導体制を整備し、複数の指導教員により、研究計画を策定した上で指導する。

3 教育評価

- (1) 講義科目では、到達度を確認できる明確な成績評価基準に基づく評価を行う。
- (2) 修士課程の学位基準に基づき、学位論文あるいは修了課題研究を評価する。